



# 押上保育園だより2月号



墨田区押上保育園  
社会福祉法人 雲柱社  
園長 松長とも子

1年の中で1番寒い月ですが、寒々とした木立にもまだまだ固いながらも木の芽ができていて、春の準備が始まっていることを感じさせられます。

さて、今、保育所保育指針の中に「小学校との連携を強めていくよう」にとの記述があり、この時期には、近隣の小学校から交流会のお誘いを受け、年長児が学校での体験をすることになっています。昨年の様子をかいつまんでお知らせします。いつも秋に運動会をおこなっています小梅小学校に行きますと1年生の子ども達が迎えてくれました。その中に一緒に遊んだ事のある卒園生の知った顔を見つけてほっとした表情に変わる子ども達の表情がありました。小学生にエスコートされて教室に入り、まずは朝の挨拶「起立」「礼」に、ちょっとびっくりした子ども達でしたが、1年生のまねをして上手に挨拶をしていました。その後、ランドセルの中を見せてもらったり、机やロッカーへのしまい方などの手ほどきを受けたり、また絵を描いたり1年生の合奏を聞かせてもらったり、最後には、広々とした体育館でジャンケンゲームをして遊びました。子ども達はすべてにおいて初めてづくしの為、緊張した様子もありましたが、だんだんリラックスして、帰る頃にはすっかりいつもの表情を見せていました。

このように今、小学校への連携を強め、お互いをより理解することが求められています。まだまだその取り組みが進んでいないのが現状です。同じ敷地内にある小学校と幼稚園なのになかなか連携が難しかったことを見直し、そこで「小学校の教育と幼児期の教育の円滑な接続」とのテーマで実践発表研修会がありました。その実践ステップの1番は「校長園長同士の交流からはじまって職員同士が知り合うところから始まることです。」とおっしゃっています。日ごろから顔と顔がお互いわかり挨拶し合える関係になるところからなのです。次に園の子ども達の様子やどのような関わり方をしているのかをお互いに参観し合い、行事等参加して交流を深めていき座談会や研修会で一緒に学びあう機会をふやしてきているとの発表がありました。このように恵まれた環境のなかにも、小学校との壁の厚さを思わずにはいられません。その理由として、地域が広がっていますし地域の子供会やご近所のつながりなど地域のコミュニティの力で補われて来た事が機能しなくなっていることがあると思われれます。

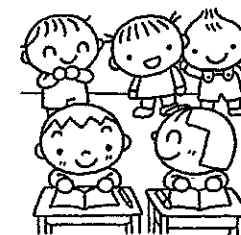
しかし、小さい歩みではありますが押上保育園も地域の児童館との連絡会議などにも出席し近隣の学校の先生、民生委員さんや地域の子ども会の方や児童館の役員、OBの方々とお知り合いになり地域の方とつながりを持つ事を大切にしていきたいと思っています。

それは園生活で、たっぷり遊び、お友だちと力をあわせ、楽しい時間を過ごした子ども達が、小学校という新たな世界に不安をもちながらも、期待に胸ふくらませて歩んでいってほしいと思うからです。



## 2月3月行事予定

- 2月 1日(水) 0歳児健診
- 2月 2日(木) 5歳児保護者会(17:00~)
- 2月 3日(金) 節分・4歳児保護者会(17:00~)
- 2月 6日(月) 0歳児身体測定
- 2月 8日(水) 0歳児健診・3歳児保護者会(17:00~)
- 2月 9日(木) お茶会(4・5歳児)  
1歳児保護者会(17:00~)
- 2月10日(金) 父母の会 影絵
- 2月13日(月) 幼児身体測定
- 2月14日(火) 1・2歳児身体測定
- 2月15日(水) 0歳児健診・5歳児小梅小学校交流会
- 2月16日(木) 2歳児保護者会(17:00~)
- 2月17日(金) 0歳児保護者会(17:00~)
- 2月18日(土) 5歳児親子遠足(草ぶえの丘)
- 2月24日(金) 誕生会
- 3月 2日(金) 3歳児遠足(わんぱく天国)
- 3月10日(土) 卒園式
- 3月14日(水) 4歳児遠足(木場公園)
- 3月15日(木) 誕生会
- 3月23日(金) らいおんさんおめでとうの会(旧わすれないでねの会)



\*行事は変更する場合があります。その場合貼り紙等でお知らせいたします。  
\*避難訓練は予告なしで行います。

**\*第三者委員のおしらせ**  
園では苦情解決のため第三者の相談係として第三者委員を設置しています。

野原 健治 興望館施設長  
03-3611-1880  
高木 恒子 雲柱社評議員  
03-3611-8339  
奈須 偉次 江東区青少年  
対策白河地区委員会委員長  
03-3633-4511

## \*おしらせ

- \*平成23年度保育継続確認書類は2月4日(土)が提出期限です。
- \*引き続き延長保育が必要な方は延長保育継続申込書も合わせてご提出ください。
- \*提出期限までに確定申告が間に合わなかった方は、3月15日(木)までにお早めに提出して下さい。
- \*今年度から卒園式の日程が変更になりました。平成23年度の卒園式は3月10日(土)です。当日は、4歳児ばんだ組が在園児の代表として出席をいたします。ご協力をお願いいたします。
- \*2月20日(月)この日の献立のご飯は、災害備蓄用のアルファ米を食べます。当日、災害の訓練を予定しており、その中でアルファ米の食べ方を子どもたちと一緒にやりたいと思います。昨年の大震災を忘れずに、職員も日ごろから災害の意識をより高めていきます。

## 絵本の紹介「ねずみのおいしゃさま」

作 なかがわまさふみ 絵 やまわきゆりこ 福音館書店

雪の降る夜、ネズミのお医者さまのところへ「りすの坊やが風邪で熱をだした」という電話がかかってきました。すぐにスクーターに乗り、出発したお医者さまでしたが・・・大雪だからと奥さんに止められても「これも医者仕事さ」と言っていたのに、「寒くて凍えそうだ」とカエルの家に勝手に入り、ひと休みしてしまうお医者さま。そのマイペースな姿に「ちょっと、ちょっと・・・」と思いながらも、おだやかな登場人物たちとのやりとりやあたたかみのある絵にほのぼのとした気持ちになれる絵本です。ほんとにこんなお医者さまがいたらちょっと困ってしまいますが、テンポの早いこの時代、このくらいののんびりさがあってもよいのかもしれないね。

ねずみのおいしゃさま



# 冬の過ごし方

今年は東京でも例年になく寒い日が続いています。そんな寒い冬のなかでも元気に遊んでいる子ども達。園庭からは、子ども達の賑やかな声が聞こえてきます。スカイツリーを見に来ている人もその声を聞いて、足を止めています。今月は、元気に遊んでいる子ども達の姿を各クラスから報告いたします。



## いるか

いるかぐみでは、寒い冬ですが、お散歩へ出かけ、高月齢児は保育者と手を繋いで「いちにっ、いちにっ」と元気いっぱい歩いています。低月齢児は抱っこでマラソンをしたりと、みんな頬を赤くしながら北風に負けずに楽しんでいます。

お部屋では、スポンジ板が大流行です。みんな毎日遊んでいるので日に日に腕を上げ、はご板にポールが当たるとお隣のポールお隣のポールへと激しく遊んでいます。



## りす

りすぐみでは、寒い冬でも戸外で楽しく過ごせるように、「よーいどん」と追いかっこをしたり、「ガタンゴトン」と電車の真似をしたりと、できるだけ体を動かす遊びを取り入れています。砂場であそぶことも大好きで冷たい砂を「冷たい～」と感じながら楽しんでいる姿があります。

お部屋の中では、ままごと、ブロック、絵本などの他に、リズム遊びや体操をしたり、羽つきや福笑い等、お正月の遊びにも挑戦して楽しみました。一人ひとりが十分に満足できるように、あそびをいくつかに分けて少人数で行う工夫などもしています。



## うさぎ

うさぎぐみの冬のあそびでは室内あそびも充実していますが、一番に挙げるのは「散歩」、一年を通して楽しんでいます。特に頻繁に行くのが隅田公園とわんぱく天国です。

わんぱく天国は想像を掻き立てられる場所で、池の中に浮いた枯れ葉を魚に見立てて釣りをしたり「かっぱおやじがいる」と言って、子ども達が自在にイメージを変えて進展させていく面白さを感じます。

最近では業平公園まで出かけ、グラウンドでボールあそびをしたり、目新しいジャングルジムで大勢集まり一段、二段と挑戦していました。滑り台では二手に分かれて「はやぶさ」、「マックス」…と新幹線の名前を交互に呼び合いながら、「わあーわあー」とはしゃいで滑っていました。

商店街巡りも多く、お店の方に声をかけられたり、交番のトイレを借りて、顔見知りにもなりました。冬の寒さも吹き飛ばす健やかな体と言葉で発散しながら楽しく表現しているうさぎぐみです。



## こあら

初雪の日…お昼寝時でした。お布団に入り窓を見るとチラチラと白い雪が降ってきました。「わあ雪だ、きれいだね。雪だるま作りたい。」と目をキラキラと輝かせにっこり笑う子ども達。外で遊びたいと口ぐちに、元気一杯の姿を見せてくれました。

大好きな園庭や公園での遊び、まずはかけっこから始まります。オニを決めず、グルグルと一方向に走りながら子ども同士目と目を合わせ笑いあったり、縄跳びを使っただけの電車ごっこでは「次は押上～お乗りの方はどうぞ～」と駅で待っているお友達に声をかけ出発進行！本当に楽しそうに体を動かしています。15分くらいすると「暑い」と言って上着を脱ぐ子が続出。ほっぺを赤くして、うっすら汗をかいてたくましい子ども達。まだまだ寒い日は続きますが、これからも小さな春を見つけに戸外に出て楽しんでいきたいと思えます。



## ぱんだ

ぱんだぐみでは、お部屋ですごくやるたを楽しんでいます。おばけすごくには、“幽霊踊りをする”や“笛をピーとふく”などのコマがあり、遊んでいるみんなで踊ってみたりしています。コマの進め方を覚えて子ども達で誘いあって楽しんでいます。かるたは、少しずつひらがなも覚えてきているので、文字と一緒に確認しながら遊んでいます。また、寒い日でも外が大好きな子ども達。冬のため葉っぱが少ない花壇でも、虫探しをしています。もちろん、からだを動かして遊ぶおにごっこは大人気です。鬼になったり、追いかけられたりとのルールや役割もお友だち同士教え合いながら、理解している姿があります。寒い中、元気に歩いてわんぱく天国にも行きました。園に帰ってきた時は、「暑いね～」と言っていました。



## らいおん

らいおんぐみは体を動かして遊ぶのが好きな子が多いので、季節に関係なく、天気が良ければ外に出る様にしています。冬になっても毎朝、「今からお外に行きたーい」と言う声が多く、朝からお庭で遊ぶ日も多くあります。「寒さなんかどこ吹く風」と言う様子で、ドッチボール、サッカー、短縄、長縄、鬼ごっこ等を楽しんでは、「暑ーい」と言って上着を脱いでいます。沢山体を動かして遊んでいるので、昼食前には「お腹空いた」と言う子が続出しています。

又、お部屋では1月になってから、めんこ、こま、おはじき等、伝承遊びを出しました。そして1月の中旬には、初めて保健福祉センターで地域の高齢者の方と伝承遊びで交流を行いました。地域の方とは言い、見知らぬ人達を前に緊張する子ども達でしたが、遊びを通して徐々に笑顔があふれて行きました。約1時間という短い時間でしたが、一緒に遊ぶことで、子ども達の中にはお気に入りの方ができたり、遊びのコツをたくさん教わったりと、とてもいい交流ができました。その後、お部屋では伝承遊びが大流行しています。

